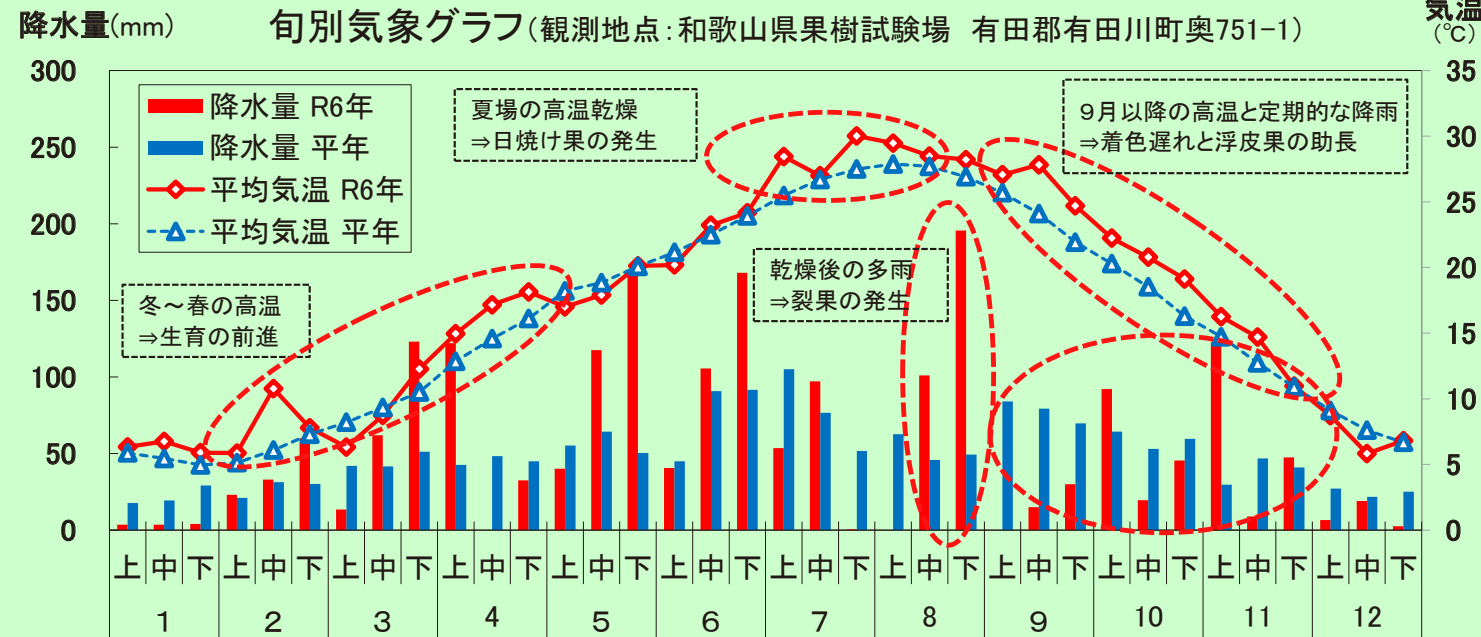


温州みかんの連年高品質安定生産のために基本管理を徹底しましょう！！

●令和6年の気象から振り返ると



＜令和7年産のポイント＞

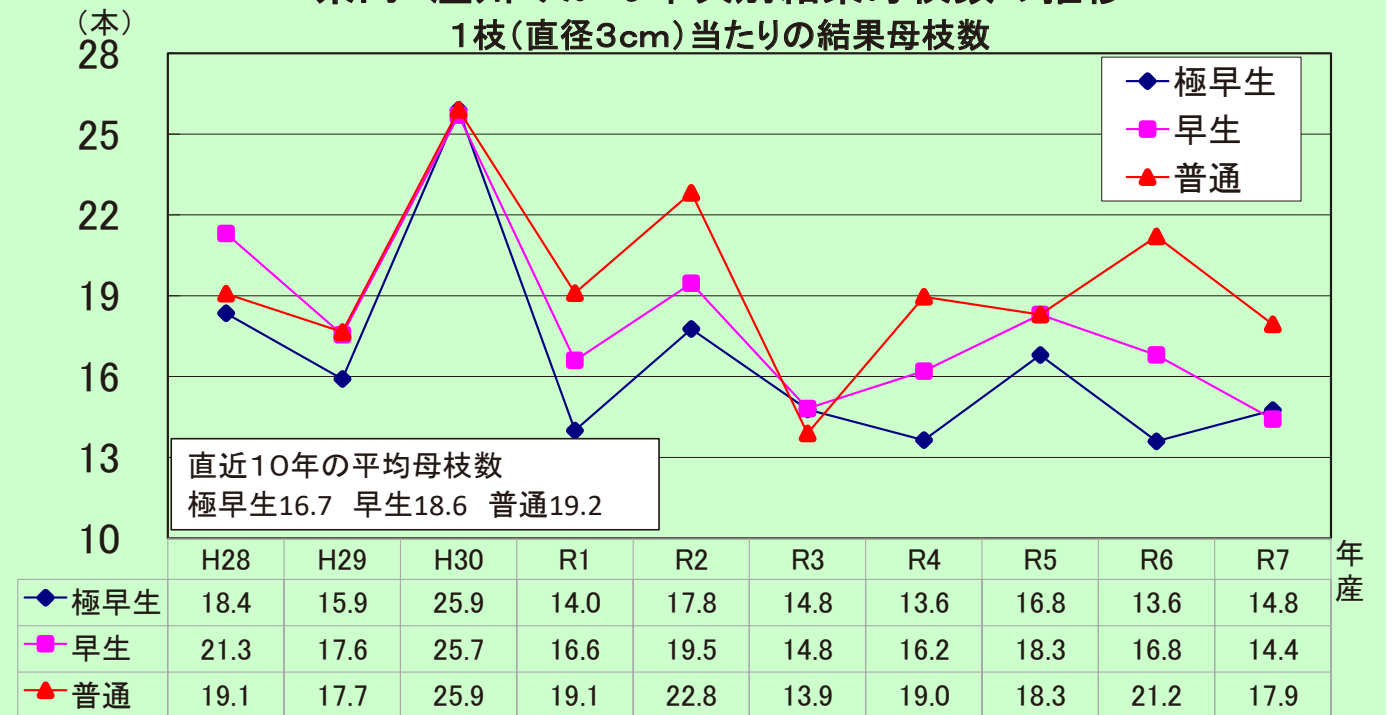
販売単価が良かった今こそ、次年度以降に向け基本管理を徹底し、樹勢の回復と収量確保に努めましょう！

近年、秋冬期の降水量が少なく、糖度が上昇しやすい環境であるものの、小玉果による減収や樹勢の低下が見受けられます。

- ・過乾燥により樹勢が低下している園では、早期の樹勢回復に努めましょう。
- ・連年結果と安定生産のため、土づくり、園地改造をすすめましょう。
- ・樹の状態に応じた枝梢や着果管理を行いましょう。

県内 温州みかん年次別結果母枝数の推移

1枝(直径3cm)当たりの結果母枝数



・令和7年産の結果母枝数は極早生は前年に比べやや多く、早生・普通は前年に比べ少ない傾向です。
また、いずれも直近10年の平均より少ない状態です。

・令和6年産の生産量は前年並みでしたが、着色遅延により収穫が遅れた園地では着花量が少なくなる可能性があります。

【基本管理を徹底しましょう！】

- ・葉面散布(尿素等)による樹勢回復(複数回)
- ・春肥の適期施用
- ・土壌診断に基づいた土づくり
(堆肥や石灰等の土壌改良資材の投入)
- ・園地の排水やかん水対策
- ・樹の日照条件の改善

本県の令和7年産は裏年傾向になることが予想されます。
着果量を確保するため、右記を参考に樹の状態に応じた管理を行いましょう。

○裏年樹(結果母枝数が少ない樹)

着果量を確保するために結果母枝は極力残しましょう。
上に伸びた太く強い果梗枝は切除し、発芽・開花後は、かぶさり枝の除去等、生理落果軽減につとめましょう。



○連年結果樹(結果母枝数が中程度の樹)

着果した枝(結果枝)、着果する枝(結果母枝)のバランスがとれた樹になっている。
軽く枝の整理を行うなど例年通りの管理を行い、状態を維持しましょう。



○表年樹(結果母枝数が多い樹)

着果量を減らすために結果母枝の量を調整しましょう。
また、新梢発生を促すために予備枝を設定するなど、着果量と枝梢のバランスを調整し、次年度の着果安定につなげましょう。

